



ひまわりの絆プロジェクト経緯



平成23年11月、京都府南部に住んでいた東陽大(あずまはると)君(当時4歳)が交通事故で亡くなりました。

生前、陽大君は幼稚園で育てていたひまわりの種を自宅に持ち帰っていました。ご両親は、陽大君が生きていた証としてそのひまわりを大切に育てていました。



陽大君(当時4歳)

平成25年春、この交通事故を担当していた警察官が自宅を訪問したとき、ご両親から、

陽大が生きた証を残したい。このひまわりがあちらこちらで咲けば、陽大も色々な所へ行けると思う。もう交通事故は嫌です。とそのひまわりの種を託されたのです。

こうして、陽大君が生きていた証を残したいと願うご両親の思いと交通事故根絶の強い願いが「ひまわりの種」となって引き継がれ、平成27年には京都府内の警察署、幼稚園、保育園、小中高校、指定自動車教習所、各地域等で、平成28年以降は京都府内だけでなく全国各地で大輪の花を咲かせました。

今年も多くの方々と、ひまわりを育てることを通じて、命の大切さと交通事故防止を伝える取組が行われています。

ご遺族からのお手紙

天国にいるハルちゃんへ

ハルちゃん。
天国で お友達 沢山で遊んだかな？
大好きな 砂遊び 沢山してるとかな？

3年前、ハルちゃんが幼稚園から帰って持ってきてくれた
ひまわりの種が、京都府全部の警察署に花を咲かせる
ことになったよ。

沢山の人を助かし、沢山のひまわりを咲かせることが
できるハルちゃんは、パパとママの自慢の子供だよ。

これから毎年、ハルちゃんの元気いっぱいの笑顔と同じ
大きなひまわりを 沢山咲かせるよう、パパとママとにいに
も頑張るからね。

ハルちゃん。
ずっと一緒にだよ。
大好きだよ。

パパとママとにいに



警察署前で咲いたひまわり



全国で咲いたひまわり



玉川中学校生徒会より全校生徒のみなさんへお願い

玉川中学校でもこのひまわりプロジェクトに参加したいと思います。この臨時休業を利用して自宅で育ててください。秋には種を収穫し、また来年ひまわりを咲かせます。種を収穫する時期になったら執行部から袋を提供します。交通安全を祈願して、大きなひまわりを育てていきましょう。ご協力をよろしくお願いいたします。

※家庭でひまわりを育てるのが困難な場合は、無理に参加しなくても構いません。

玉川中学校生徒会執行部より

ひまわりの育て方

種まきの時期（目安）	4月～6月	気温 20℃～25℃
場所	日当たり、水はけがよく肥えた土 2m 近く成長しても大丈夫な場所	

- ① 育てる場所が決まったら、土を耕します。
- ② 1ヶ所に2、3粒の種をまき、土を1センチほどかぶせ水をやります。
- ③ 水やりは毎日し、土が乾きすぎないようにします。
種をまいてから10日前後で発芽します。
- ④ 双葉が開いたら元気な苗を残して間引きします。
- ⑤ 本葉が開き、葉っぱが増えてきたらたっぷり水やりをして育てていきます。

【 注意点 】

根が育つほど茎や葉も大きくなるため植木鉢だと小さく育ち、種が取れないこともあるそうです。

編集室ではヒマワリの成長に合わせて途中で支柱を長くて丈夫なものに替えましたが、その後もぐんぐん成長し、台風が来た日には強風にあおられて折れてしまいました。その頃には茎の太さは直径3センチほどになり、根も広く張っているため新しい支柱を立てるにも根を傷つけやしないか心配しました。

そのため支柱は初めから長く頑丈なものにしておくことをおすすめします。

